

ペンタサ®坐剤1gの使い方

この薬は肛門に入れるお薬です。飲まないでください。

保管上の注意

- ① アルミ袋から出した坐剤は、すみやかにご使用ください。開封後は徐々に着色するため保存しないでください。
- ② 未開封の坐剤は、直射日光、高温をさけ、室温で保管してください。
※冷蔵庫で保管する必要はありません。
- ③ 子供の手の届かない所に保管してください。

坐剤の取り出し方

- ① アルミ袋が重なったシートから、ミシン目にそって1個分を切り離します。
- ② アルミ袋のきりくち(🔪)から、袋を開けて、坐剤を取り出してください。



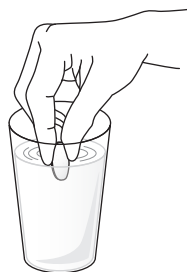
坐剤の形状について

- ① 表面に灰白色の斑点のある楕円形の坐剤です。
- ② 挿入はどちらの方向からでも可能です。



ご使用前に

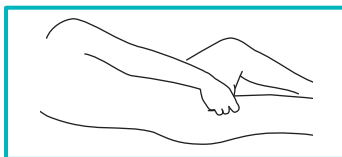
- ① できるだけ排便をすませてから使用してください。
- ② 坐剤を無理に挿入しようとすると、直腸粘膜を傷つけるおそれがありますので、慎重に挿入してください。
※使用直前に坐剤の先端を水で濡らすと挿入しやすくなります。



挿入時の体位と方法

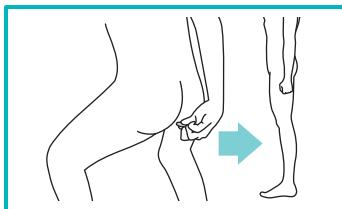
■横になって挿入する場合

横になり、片足を曲げて、肛門にできるだけ深く挿入してください。



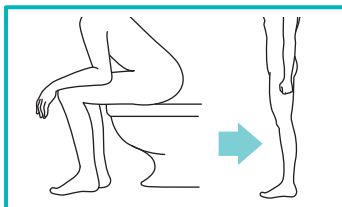
■中腰で挿入する場合

中腰の姿勢で、肛門にできるだけ深く挿入してください。その後、立ち上がると坐剤が無理なく入ります。



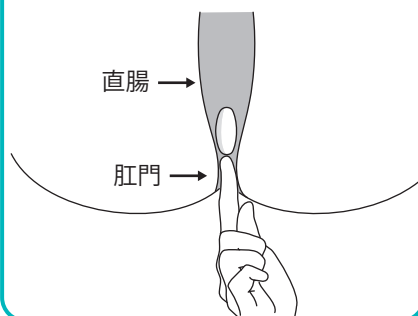
■座って挿入する場合

座った姿勢で、肛門にできるだけ深く挿入してください。その後、立ち上がると坐剤が無理なく入ります。



坐剤挿入のポイント

坐剤の挿入が浅いと肛門からでてくる原因となります。指先で坐剤を押し込んで、直腸内へ挿入してください。



坐剤による局所療法の重要性

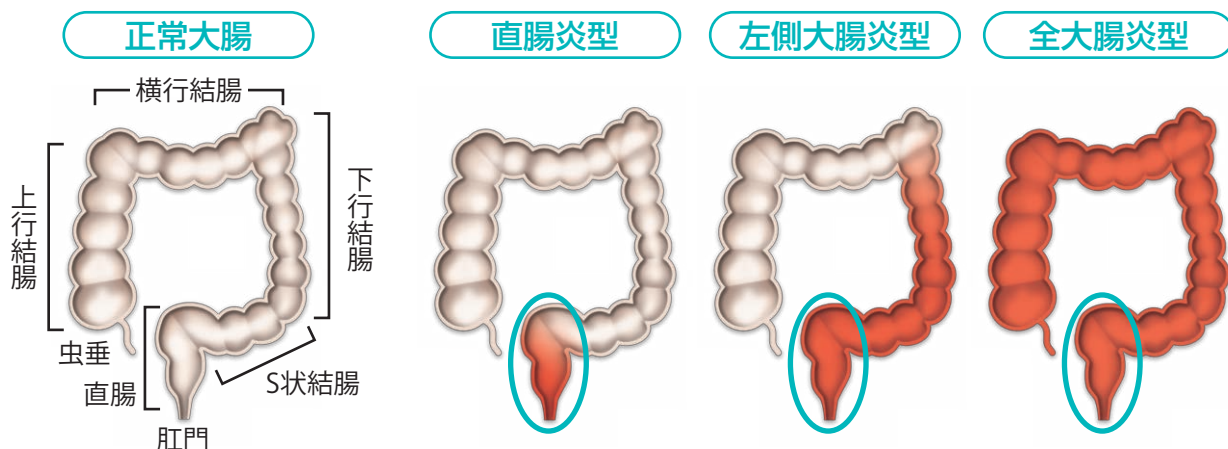
● 坐剤は直腸の炎症を直接抑える治療法です

潰瘍性大腸炎では多くの場合、大腸の下部(肛門側)に強い炎症が起こり、我慢できない頻回の下痢や目で見える出血の原因となっています。

これらの病変の炎症を抑えるために、坐剤や注腸剤の局所療法が用いられます。

坐剤は肛門からお薬を挿入することで直腸の炎症を直接抑える治療法です。直腸に病変を有するすべての病変範囲の潰瘍性大腸炎治療に使用されます。

これらのことから、坐剤による局所療法は潰瘍性大腸炎の治療に広く用いられています。



● このお薬について

ペンタサ坐剤は、潰瘍性大腸炎に対するお薬です。

必ず指示された使用方法に従ってください。

気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。